

2月の行事予定

3日(金) 誕生会
16日(木) 避難訓練

※1日(水)に予定していましたが、生活発表会②(にじ組)は延期になりました。延期の日程については後日お知らせします。

※行事については今後の新型コロナウイルス感染状況次第で変更する場合があります。

3月の行事予定

3日(金) 誕生会
7日(火) 卒園旅行(5歳児)
10日(金) 健脚活動⑤
13日(月) 避難訓練
16日(木) 卒園式
29日(水)~31日(金) 自由登園

わまびこだより



社会福祉法人岡山子ども協会 とよた保育園
赤磐市松木549 TEL 995-0244
令和5年2月1日発行 第295号

10年に一度といわれる寒波が訪れ、とよた保育園名物のこくま山もすっかり雪化粧しました。真っ白な世界に子どもたちは喜び、元気よくそり滑りを楽しみました。

子育ての悩み相談

Q、家ではどんなおやつを出したらいいでしょうか?

A、幼児は胃が小さく、消化機能が未熟な為、3回の食事では一日に必要なエネルギーや栄養素をとることができません。その為、おやつは第4の食事と捉えます。園では甘いものだけでなく、おにぎり、うどん等の食事のようなものも出しています。おやつというより、食事の一つと考えるとメニューを考えやすいと思いますよ。

宮本 睦子

我が家の朝ごはん

「はちみつバタートースト」

材料：トースト1枚

バターとはちみつはお好みの量

作り方：トーストに切れ目を入れ、オーブンでこんがり焼き目ができるまで焼きます。焼きたてのトーストの上に、バターとはちみつをお好みの量をのせて完成。出来立てはサクサクとしていて美味しいですよ。

内田 沙緒里

共同農園のイマ

ジャガイモが収穫の時期を迎えたので、たんぼぼ・つくしグループとにじ組で収穫しました。地域の方に「よろしくおねがいします」と挨拶をした後、一緒にジャガイモをとっていきます。あっという間にジャガイモでいっぱいになっていくバケツ。「たくさん採れたね」とみんなで喜びました。

味噌汁、フライドポテト、煮物などいろいろな料理に使えて美味しいジャガイモです。



しんじ&ししまい

とんどでは子どもたちが見守る中、正月のお飾りや、書初めなどをはやしました。はやす様子を見ながら上へとあがる煙を見送りつつ、燃えた後の炭を顔に塗り合っって無病息災を願っています。

ししまいの登場には驚いて涙する子もいましたが、しっかりと頭を噛んでもらいました。今年も元気に過ごせそうです。



今年の冬は十年に一度と言われるような寒波の影響で積雪があり、ヒヤヒヤしながら通勤時ハンドルを握りしめた方もいたのではないのでしょうか。普段できない雪あそびに職員も子どもたちと一緒に楽しんでみました。

その日の夕方園庭の見回りに行くところ、にじ組のAさんも「ついでに」とスノーブーツを履いて砂場を片付けに行きました。夕方でしたが、まだふわふわの雪が残っていて「雪だ」と嬉しそうに両手いっぱい雪を手にしていました。しかし、嬉しそうに雪で遊んでいたAさんが、急に泣き始めました。「どうしたの?」と聞くと「冷たい...冷たい...」と涙を浮かべて手をじっと見つめます。手が痛くなるほどの雪の冷たさに驚いたのでしよう。その姿に雪の冷たさを実感したのだなと思えました。ちなみに、朝は手袋をつけていたので冷たさに気付かなかったようです。「冷たいね。雪だもんね」とAさんの手をさすりました。

今回の雪で子どもたちは初めて雪に触れる子もいたようです。「雪は冷たいよ」と言ってもそれはどれほどの冷たさなのかは、自分で実際にさわって、体感してみないとわからないものです。Aさんにとって雪を手で触ったことがひとつ学びとなったようです。この学びの1つひとつが子どもたちにとってはすごく大切なことです。大人が伝える(教える)ことよりも、子ども自身「わかる」ということが、次はこうしてみようと考え、きっかけになるのです。大人は今までの経験からつい先を読んで手出しをしてしまいがちですが、「これくらいだったら大丈夫かな」「この前は失敗したから、次はこうしてみよう」と自己決定しながらやってみることができるよう、子どもたちの様子を見ながら、学びの機会を奪わないよう関わっていきます。

角田 真理



社会福祉法人岡山子ども協会

とよた保育園ホームページ URL とQRコード
<https://toyota.okayamakodomokyukai.jp>





【寒い日には…】

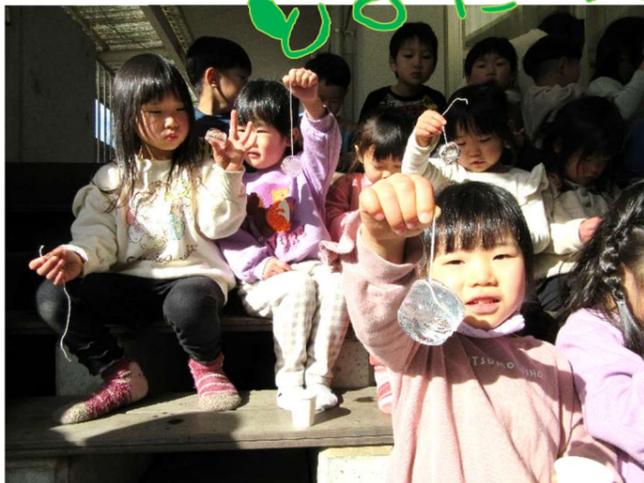
「寒いね」「明日は雪が降るんだって」と、こどもたちが話している中、隣で聞いていると「寒いと朝、水たまりが凍るんよ」という話もあり、すかさず「どうして凍るの?」と聞いてみました。するとこどもたちから返ってきた返事は「寒いから!」とのことで、本当に寒いと凍るのかを氷づくりで試してみることにしました。

紙コップに水を入れて、保育園で最も寒そうなところ(給食室の裏)へ置きます。「凍るのかなあ」と少し心配そうな子もいましたが、2日後の朝に見てみるときれいな氷になっていました。「冷たい!」「太陽の光にあたるときらきらしてる」などと自分たちが作った氷を見て、触って楽しむこどもたちでした。

どうして凍るのかという疑問から、どうしてこうなるんだろうとこどもたち自身が不思議に感じたり、それらを一緒に考えたりしながら、発見や驚きを経験していきます。

【友だちと一緒に】

友だちを自ら誘って遊ぶことが多くなってきました。靴下や靴を履いている時から「いっしょにこぐま山に行こう」「靴はけるの待って」と、友だちと遊ぶことを喜んでいます。こぐま山では木や葉を店や物に見立て「いらっしやいませ」「レシートですよ」とごっこ遊びを楽しんでいます。氷づくりをした時に気にはなるけれど触るのにドキドキしたり、一人だと少し緊張したりと不安なこどもたちですが、友だちがいると挑戦する姿もあります。しかし、友だちが次々と「つめたーい」と言いながら笑顔で触る姿を見て手を伸ばし一緒になって「つめたいもてん(持てん)」と笑い合っていました。不安だけやってみたいと思う気持ち、友だちに刺激をもらい一緒に楽しむ気持ちなど、一場面で行っているいろいろな事を考え行動しているんだと成長を感じた保育者です。



【面白い顔だな】

今年もたくさん笑ってあそびたいと思い、正月あそびとして福笑いをしました。目隠しをして福笑いをする子、「これが目だよ」と友だちに伝える子と役に分かれています。福笑いは、目が寄っていたり、眉毛が鼻の下になっていたりどれとも面白い顔です。目隠しをしている子は考えながらしていますが、渡す側はにやりとやりと顔が笑っています。福笑いで大笑いしたので今年も楽しい一年になりそうですね。



【これは大根とカブ】

今年は、共同農園にたくさんの大根とカブができました。共同農園へ行き、大根とカブを抜こうとしましたが、一人の力では抜けません。するとAさんが「こうする」と二人で一つのカブを持ち「うーん」と何度もひっぱりました。少しずつ抜けているかを感じとったこどもは「もう抜ける」と頑張りました。抜けた大根とカブは、道路で擦りおろさないように大事に抱えて園まで持って歩きました。

大根は細長い形、カブは丸い形とこどもたちに形の違いと名前を伝えました。すると給食にお汁やおかずで大根らしい食感を感じると「今日、大根入っているね」「やわらかいね」「美味しい。もっと食べる」と食材に興味をもち、よく食べるようになってきました。冬の野菜は大根、カブだけではありません。まだ共同農園に白菜や人参、キャベツが残っているので、こどもと一緒に収穫して食材の形や名前、食感に味などいろいろなことに興味をもつことができるように投げかけていきたいと思います。

